



ロータリーの未来は
あなたの手に
国際ロータリー会長
ジョン・ケニー

Rotary International

週報



国際ロータリー第2750地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

— 仲間を増やして活気のあるクラブ作り —

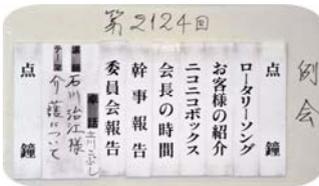
2009～2010年度 会長 田中 昇

Vol44 No.26 平成22年1月26日

第2124回 例会 報告 — 1月26日 —

本日の司会

照木 SAA 委員



思いました。

誠に残念な事ですが、永い間、事務局を勤め頂きました菊田さんが、本日をもちまして退職いたす事になりました。本当に永い間有難う御座いました。記念品を添えて感謝の意を評したいと存じます。今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

ロータリーソング

『我らの生業』

ソングリーダー：岡田 会員



○退職の挨拶 菊田 マスミ 事務局員

私事になりますが、この度1月31日を以って退職する事となりました。本来なら、今年度末までお手伝いをさせていただきべきところではありますが、あいにく主人の健康上の具合が悪くなった事と、重ねて私が後



見人となっている叔母の介護が必要となった為、12月中旬にその旨の申し出をさせていただきました。皆様のご指導の下で8年間の職責をなんとか無事終えることが出来ました事に感謝致しますとともに、心から御礼を申し上げます。この席に立つのは、本日が2度目・・・ロータリークラブでお勤めさせていただきご挨拶をさせていただいた事が昨日の様に思い出され、年月の経つ速さを、只々感じさせられました。今、花岡さんがおいでになっておりますが、花岡さんは以前ロータリーに携わっていた方ですので、引継ぎも順調に進み、安心して私も退職することが出来ました事に、とても感謝いたしております。永い間皆様には、いたらぬ私を応援していただきまして本当にありがとうございました。クラブ会員皆様のご健康と益々のクラブのご繁栄を心からお祈りいたしまして退職の挨拶の言葉と替えさせていただきます。永い間、本当にありがとうございました。

お客様紹介

田中 会長

○石川 治江 様 (東京立川こぶしRC)

ニコニコボックス

飯沼 親睦 委員長

田中会長・須藤幹事：本日卓話、石川治江様のご来訪を歓迎いたします。岡田会員：お見舞をいただき恐縮でございました。皆様のご健康をお祈り申し上げます。照木会員：田中会長に私のリサイタルの写真をいただきました。ありがとうございます。あたくまうまいみたいです。

会長の時間

田中 会長

本日は立川こぶしRCの石川治江様を講師にお迎えしての例会が出来ますこと誠に光栄に存じます。確か石川様は本日は、自クラブの例会日だったのではないかと思います。私共クラブまで足をお運び頂き感謝に耐えません。有難うございます。一昨日の日曜日夕方、「笑点」と云う番組を見ていましたら、第2100回目でした。当クラブと歴史が近いことを感じました。おそらく40年以上の歴史と実績が在るのではないかと



幹事報告

須藤 幹事

- ①ハイチ地震義援金について、地区から連絡がきています。後日理事会で決定いたします。
- ②国分寺第4中学校職場体験学習は1月19日～21日の3日間株式会社アイエスさんと2名無事に終了いたしました。

渡辺職業奉仕委員長お疲れさまでした。タナカ塗装(株)にはすでに数年前より実施していただいています。

③東京銀座新RCより(特別講演&コーラス公演)(ポリオの寄付)のご案内がきています。

④東京マラソン2010に出場される人は幹事にご連絡ください。カナダの国際大会に参加される人もお願いいたします。



委員会報告

出席委員会

高橋宏出席委員長

会員数 50名 免除 9名 メーキャップ済み 3名

欠席 2名 出席率 95.12%

<前々回の修正> なし

親睦委員会

飯沼委員長

3月7~8日に親睦旅行を予定しています。旅行の工程表が欲しいという方がおられますので、行程表を皆さんにFAXします。2月15日には、国立白うめRCと合同例会を予定しています。会場の案内図等は次の例会の時、配ります。



卓話

○講師紹介 高橋正典プログラム委員長

石川治江様は、立川こぶしRCの会員であります。NPO法人「ケア・センターやわらぎ」代表理事、社会福祉法人「にんじんの会」理事長でもあります。永年にわたり社会福祉について活動を続けられております。また、立教大学大学院教授で、著書に「介護はプロに、家族は愛を」があります。

石川治江様(立川こぶしRC) 「介護について」

1 介護保険制度について

2000年4月に施行された介護保険制度は満10年を迎えようとしています。私たちの国で、介護の領域が国会で議論されたのは戦後初めてでしょう。戦前戦後の

長い間、介護は家族が担うものであるとの認識があり、特に女性の負担によって行なわれてきた歴史があります。しかし近年、家族介護に委ねることは非常に困難であることが人々の認識になってきました。この背景には、次の5つの問題や状況が挙げられます。



第1に高齢化の問題、第2に少子化の問題、第3に女性の社会進出、第4に家族介護力の低下、第5に社会的入院の増加の問題です。これらの問題はわが国だけのことではありません。福祉先進国といわれている北欧は、少子高齢化の構造が1960年代に噴出しました。わが国では1990年代に顕著になり、これらの問題は社会保障制度として整備しなければならないわけですが、このことは世界各国が抱えている大きな問題です。

2 介護保険を利用するには

自分の近未来を想定して、まず情報を得る事をお勧めします。もちろん間違った情報を得ても仕方ありませんから、得た情報が正しいかどうかを確認するためにも役所からでている情報をいつも気に掛けてください。制度を利用することになれば、必要な機関に連絡すれば情報を得ている分スムーズに事が運びます。

3 社会福祉法人にんじんの会とNPO法人ケア・センターやわらぎについて

今から33年前に障害を持っている人と出会いました。その人は「駅にエレベーターを設置したい」という願いを持っていました。当時はよく理解できずにいましたが、ボランティアで外出支援をしてみると、駅や街の構造が実に使いづらいたことが分かり、また、施設から出て地域で暮らしたいという願いに共感をしました。ボランティア活動の限界は8年で、在宅ケアの仕組みを何とかつくりたいと、24時間365日の在宅福祉サービスを行うケア・センターやわらぎを設立しました。その後、社会福祉法人にんじんの会を設立し、現在では杉並区から山梨県まで12拠点で事業展開をしています。

4 介護は地場産業です

福祉先進国をよく見てみれば、「他者介護」により雇用が生まれ税金が確保できる仕組みを創っていることです。これはその地域でできるいわば地場産業といっているでしょう。

他者介護とは、すなわち自分の親の介護にヘルパーさんが来て、自分は他の親の介護ヘルパーとして働くということです。ヘルパーさんだけではなく、看護師や栄養士や作業療法士などさまざまな専門家が他者介護者として働くことで在宅ケアの充実と雇用促進が図れます。

また、認知症のお年寄りが徘徊することが問題視されますが、徘徊か散歩かわかりませんが、安心して町を歩けることが地域づくりだと思います。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ 東京国分寺ロータリークラブ

会長 田中 昇 幹事 須藤 新太郎
会報委員長 小向 将介

事務所・例会場 東京都国分寺市南町3-20-3 JR東京西駅ビル開発8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://kokubunjirc.exceed-net.co.jp>